

アルト L

ALTO

乗員
定員 **4名**

オプションで
4WD をご用意
しております。
(自己負担となります。)

ボディカラー

スベリアホワイト
(26U)

〈日本財団仕様〉

- ・フロアマット
- ・ドアバイザー
- ・ドライブレコーダー
- ・バックモニター
- ・スモークフィルム

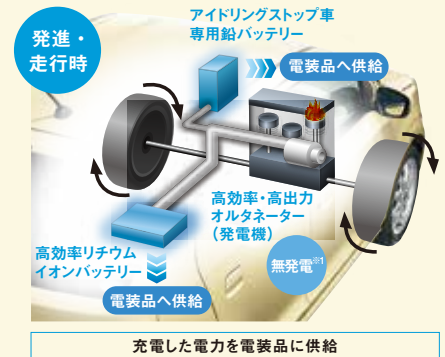
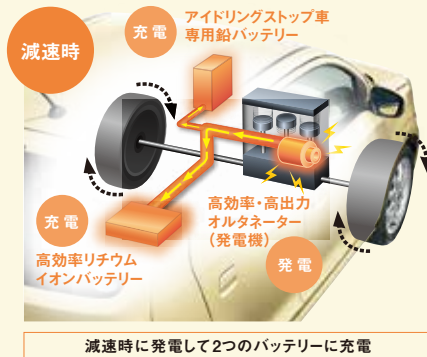


低燃費を実現するテクノロジー

ene-CHARGE

減速時のエネルギーで発電・充電し、ムダな燃料消費を抑える「エネチャージ」

減速時に発生するエネルギーを利用してオルタネーター(発電機)で発電し、鉛バッテリーとリチウムイオンバッテリーに充電。その電力を電装品に供給することで、発電によるガソリン消費を最小限に抑えるとともに、エンジンへの負担を軽減して軽快な走りにも貢献します。



※1 電装品の使用状況またはバッテリーの状態により、発電する場合があります。

IDLING STOP

「新アイドリングストップシステム」を搭載。
減速時からガソリンを使わず約13km/h以下でエンジン停止

eco-COOL

アイドリングストップ中でも、冷たい風を送ることができる「エコクール」

燃料消費率(国土交通省審査値) **JC08モード**

ene-CHARGE 2WD・CVT

37.0 km/L^{※2}

☆☆☆☆
低排出ガス車

ene-CHARGE 4WD・CVT

33.2 km/L^{※2}

☆☆☆☆
低排出ガス車

※2 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※このカタログは2019年8月現在のもので、仕様並びに装備は改良のため予告なく変更することがあります。

SUZUKI Safety Support

スズキの予防安全技術

安心して、楽しくスズキのクルマに乗っていただきたいという想いから生まれた「スズキ セーフティ サポート」。

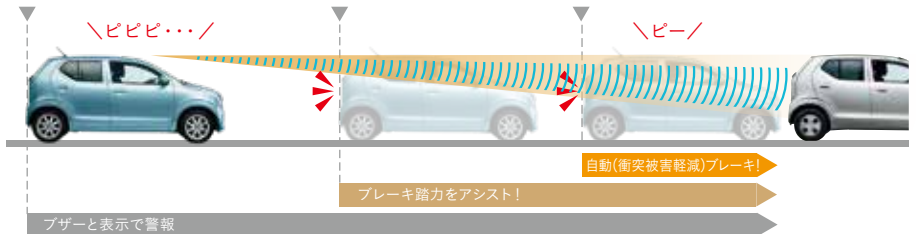
事故を未然に防ぎ、お客様の万一のときの安全を確保するために、
運転をサポートする様々な技術で、ヒヤリとする場面も限りなくゼロに近づけていきます。



デュアルセンサーブレーキサポート

人にも、クルマにも作動する 衝突被害軽減ブレーキ。

前方の車両や歩行者を検知し、衝突のおそれがあると判断すると、ブザー音やメーター内の表示によってドライバーに警告。ブレーキペダルを踏むと、ブレーキ踏力をアシスト。衝突の可能性が高まると、自動で強いブレーキをかけ、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。



ブザーと表示で警報
ブレーキ踏力をアシスト!
自動(衝突被害軽減)ブレーキ!

*自動(衝突被害軽減)ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前に全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることをご確認ください。
*自動(衝突被害軽減)ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



後退時ブレーキサポート

バック時にも、衝突被害軽減ブレーキ。

リヤバンパーに内蔵した4つの超音波センサーで後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音で障害物の接近をお知らせする「リヤパーキングセンサー」を搭載。さらに、後方の障害物との衝突の可能性が高まると自動でブレーキが作動し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。



ブザーと表示で障害物への接近をお知らせ
自動(衝突被害軽減)ブレーキ!

*自動(衝突被害軽減)ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により後退しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



誤発進抑制機能

踏みまちがいによる急発進を回避。

駐車場などで、前方に壁などがあるにも関わらずシフトをD・M・L(前進)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、最長約5秒間、エンジン出力を自動的に抑制。急発進・急加速を抑えて、踏みまちがいなどによる衝突回避に貢献します。



エンジン出力を制御
*ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。



後方誤発進抑制機能

シフト入れまちがいによる不意の後退を回避。

後方に障害物があるにも関わらずシフトをR(後退)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を自動的に抑制して急な後退を防止。うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。



エンジン出力を制御



車線逸脱警報機能



ぶらつき警報機能



先行車発進
お知らせ機能



ハイビームアシスト



〈デュアルセンサーブレーキサポート・誤発進抑制機能・後退時ブレーキサポート・後方誤発進抑制機能について〉
■検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
■状況によっては正常に作動しない場合があります。
■対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。
■ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行なっているときは、作動しない場合があります。
■ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
■詳しくは販売会社にお問い合わせください。
●(各機能の作動条件)●デュアルセンサーブレーキサポート: 自車速度約5km/h ~ 約100km/h (対象が歩行者の場合は約5km/h ~ 約60km/h) で走行中、前方の車両や歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合。作動したときの速度が約5km/h ~ 約50km/h (歩行者の場合は約5km/h ~ 約30km/h) であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に自動(衝突被害軽減)ブレーキが作動する場合があります。
●誤発進抑制機能: シフト位置がD・M・L(Sモード含む)の位置で停車または徐行中(約10km/h以下)、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。
●後退時ブレーキサポート: 約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。
●後方誤発進抑制機能: 停車または約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。

お車の仕様等についてのお問い合わせ先

スズキ株式会社 東京直納
小池 潤 TEL.03-5635-7311
製造事業者 スズキ株式会社